

教科	国語	単元名	情報に関係づける
----	----	-----	----------

本時のねらい

見る人にとって伝えたい情報が一目で伝わる効果的なポスターを書くことができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・様々な資料の中から各自が必要な情報を適切に見つけ、引用することができる力を育成する。
- ・ロイロノートや Power Point、Word などのアプリケーションを各自が適切に選択して、見る人に情報がより伝わる効果的なポスター作成をすることができる。
- ・作成した作品データをオンライン上で共有して鑑賞し、相互評価をすることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・プロジェクター
- ・ロイロノート・スクール
- ・Microsoft Teams
- ・Microsoft PowerPoint
- ・Microsoft Word
- ・Microsoft Excel
- ・Adobe Creative Cloud Express

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	【前時までの振り返り】 ・根拠に基づいた説得力のある資料を引用することや、その出典を明らかにすることが必要であることなどを確認する。	・Teams 上に前時までの学習内容をまとめたファイルを保存しておき、生徒がいつでもその内容を確認できるようにしておく。
展開 (40分)	【ポスター作成】 ・下書きを参考に各自の選択したツールでポスターを作成する。 ・図表やグラフの配置を工夫するように指示する。 ・資料は適切に引用されているか、出典が示されているかを確認する。 [写真1] 【提出準備】 [写真2] ・完成した作品を客観的に見直し、PDF化する。	・これまでに扱ったことのある ICT ツール（ロイロノート、Power Point、Word、Excel 他など）の中から、ポスター作成に際して、自分が最も適切であると思うツールを選択させる。 ・説得力のある資料の引用や、効果的な図表の使い方について参考になる資料を、Teams 内に保存しておき、いつでも生徒が確認できるようにしておく。 ・出典として扱う資料については、信頼度の高いサイトのものであるかを確認させる。 ・各ツールによって PDF 化の方法が異なるため、それぞれのツールに応じた PDF 化の方法を記したファイルを、Teams に保存しておき、いつでも生徒が確認できるようにしておく。
まとめ (5分)	【ポスター提出】 ・PDF化したファイルを、各自ロイロノートに提出する。 [写真3]	・提出箱を回答共有しておき、クラスメイトが提出したポスターを鑑賞し、評価し合う。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：ポスターを制作している様子



写真2：グループでアドバイスをし合いながらポスター制作をする様子

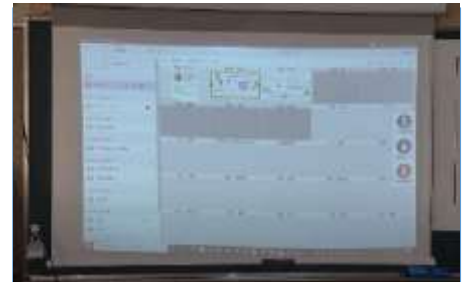


写真3：PDF化したファイルをロイロノートに提出している様子

児童生徒の反応や変容

- ・画像編集ソフトを用いてポスターを作成する生徒もあり、ポスター制作にとって自分が最適だと思うツールを使おうとしていた。
- ・ポスター制作が終わった生徒が、PCの操作や扱いが苦手な生徒のサポートに回るという流れが自然にできていた。
- ・お互いのポスターをオンライン上で鑑賞することで、相互にコメントしたり、推敲したりすることが簡単にできるようになり、自らのポスターを修正し、よりよいものを作成しようとする姿があった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・WordやExcelは、日頃から様々な場面で使う機会を設け、操作に慣れさせておきたい。
- ・指導者側で使用するツールを限定せず、「ポスターをPCで制作する」ということだけ伝えただけで、生徒は、製作者として自由な発想で様々なレイアウトの制作物を作ることができた。
- ・ポスター制作の条件や提出の仕方他全ての資料をTeams上に掲載したことで、生徒は自らのペースで主体的に内容を確認し、作業に取り組めた。